



エンランスライト カントリー (EJ-12型)

取扱説明書

保管用

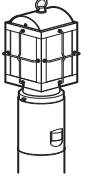
お客様へ

お買い上げありがとうございます。

- ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管し必要なときにお読みください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店・電器店に依頼してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。



上手に使って上手に節電

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■器具を改造したり、部品交換をしない



火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

分解禁止

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る



異常状態が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。

必ず守る

■ランプは器具表示のものを使用する



間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。

必ず守る



注意

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。



点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

必ず守る

■ランプ交換、お手入れの際には、電源を切る



通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

必ず守る

■本体の取り外しは工事店、電器店に依頼する



本体の取り外しには資格が必要です。

必ず守る

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない



やけどの原因となることがあります。

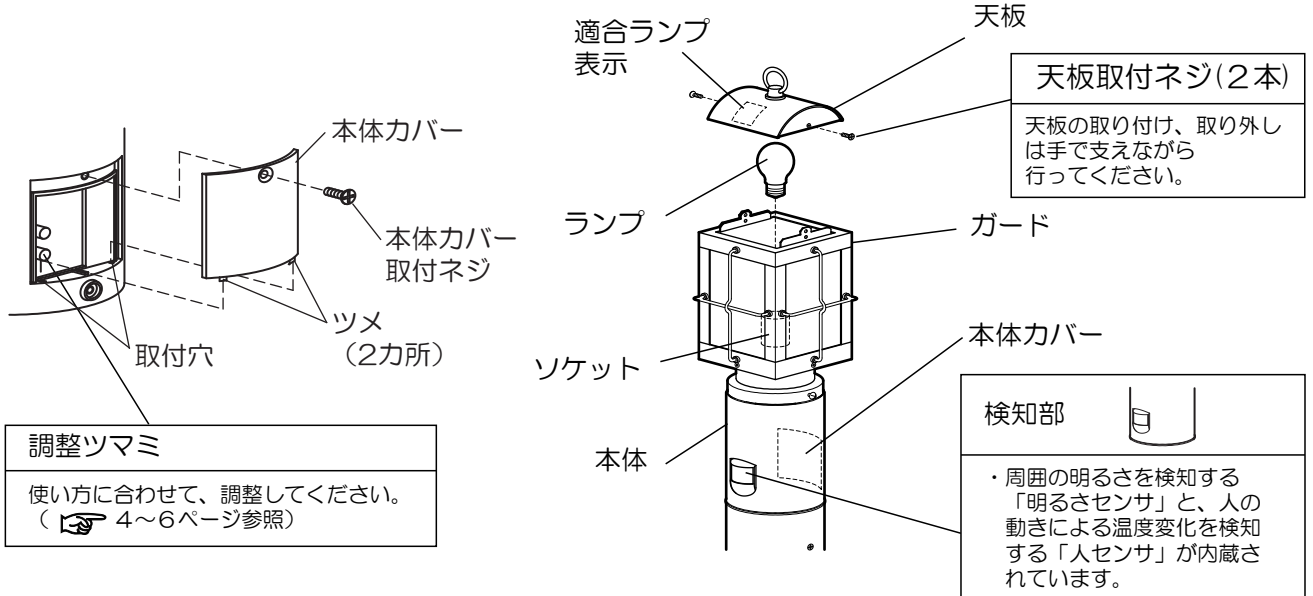
接触禁止

使用上のご注意

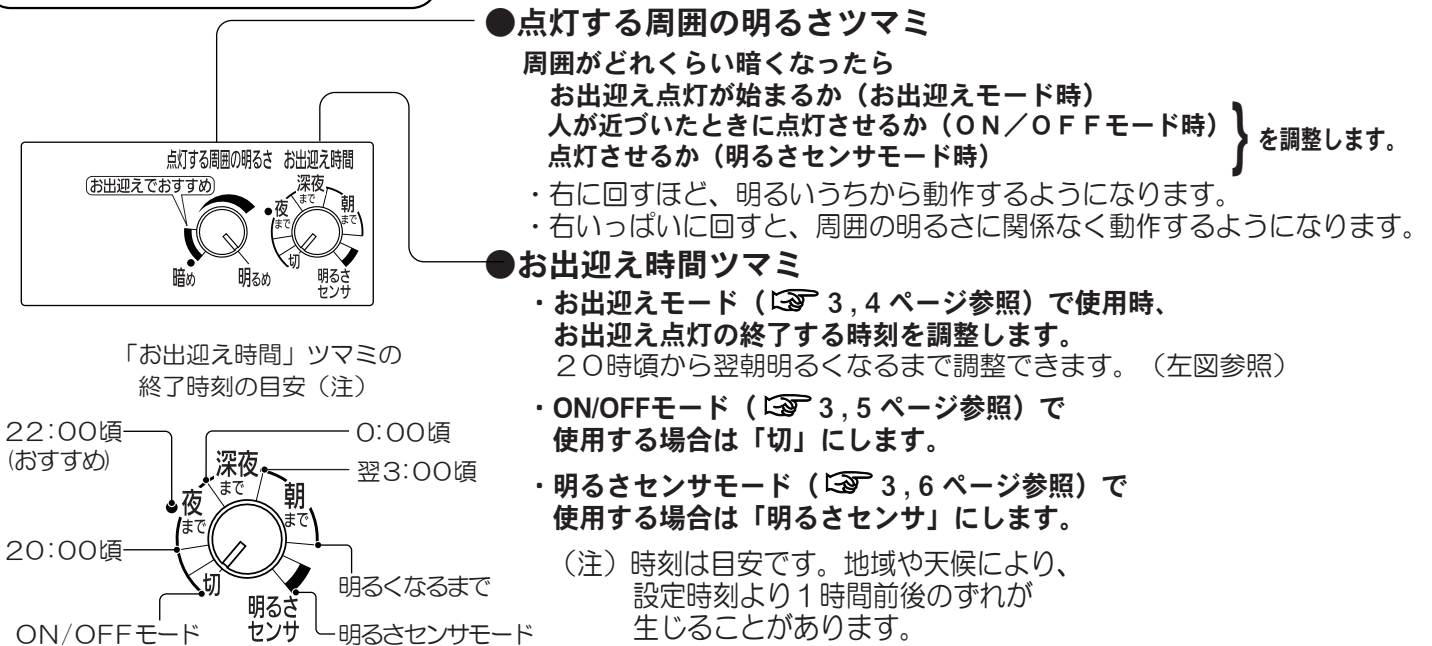
- 一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

各部のなまえとはたらき

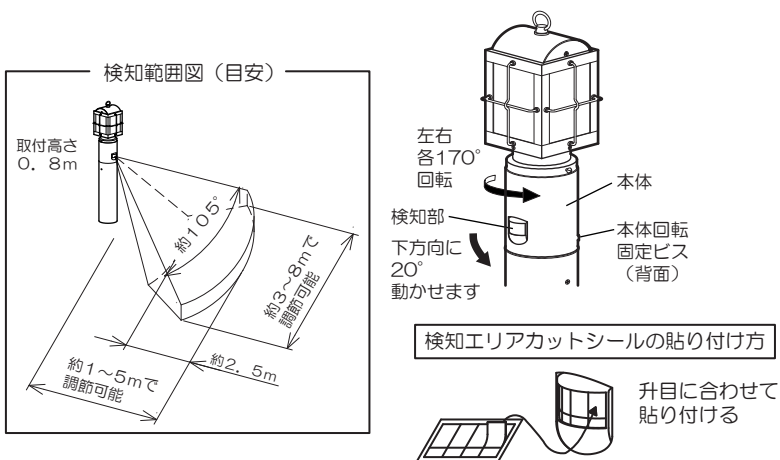
各部のなまえ



調整ツマミのはたらき



センサの検知範囲



ご注意

- この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物、自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- 夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。

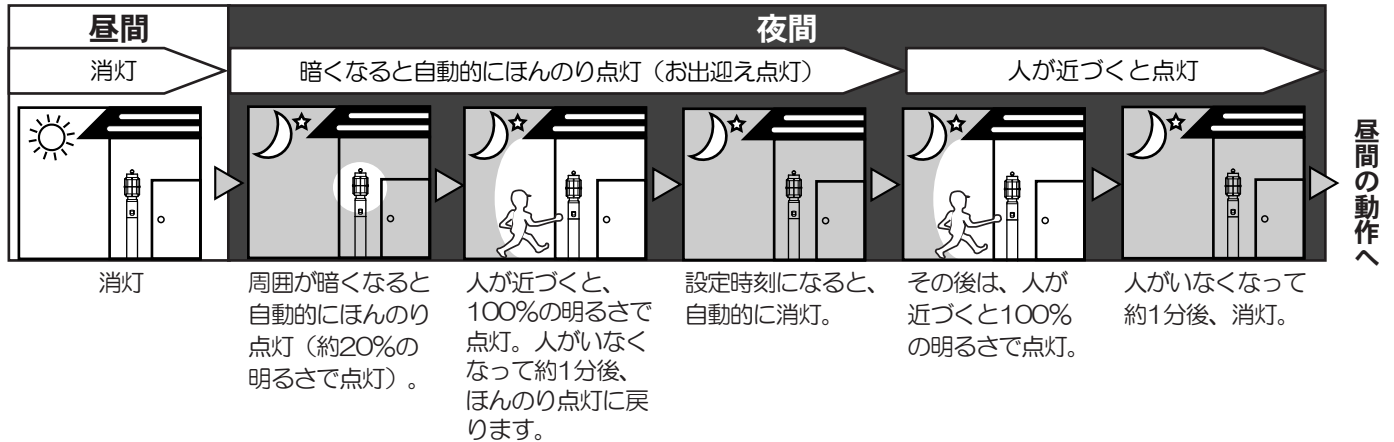
使いかた

センサによる点灯

- 壁スイッチは常時ONで使用してください。
センサのはたらきにより、自動的に点灯、消灯します。
- ご使用前に、使いたい点灯動作に合わせて、器具本体に内蔵している調整つまみを設定してください。
センサによる点灯動作は、「お出迎えモード」・「ON/OFFモード」・「明るさセンサモード」3種類のいずれかから選べます。

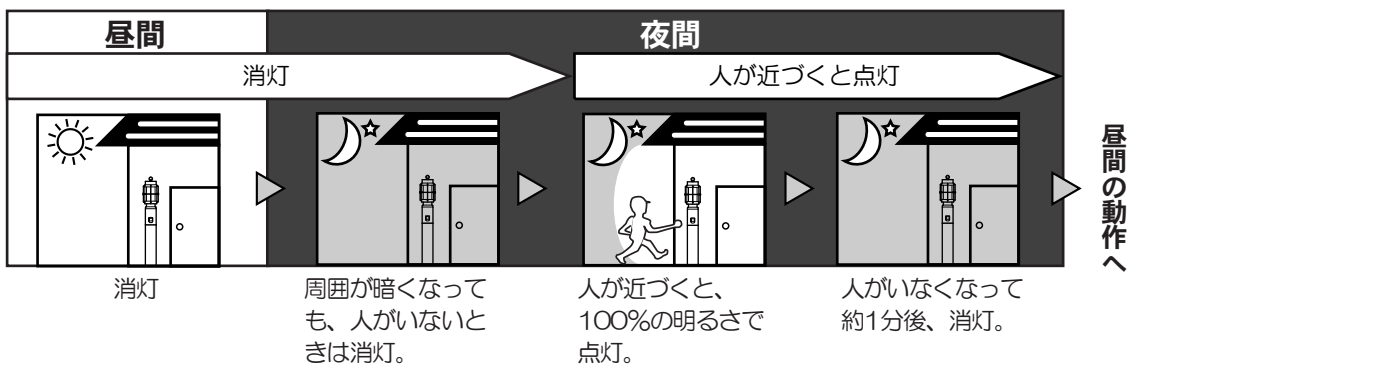
お出迎えモード の動作説明

調整つまみの設定方法 4ページ



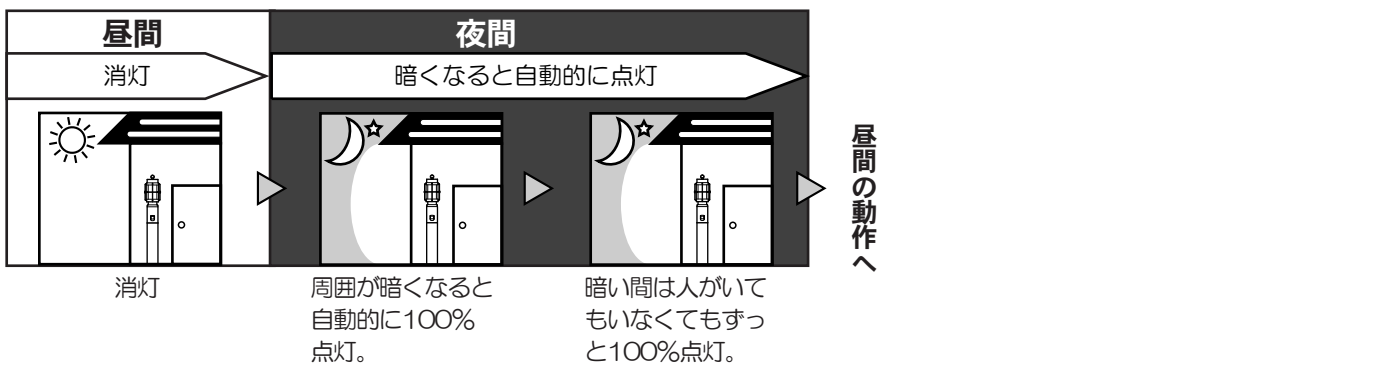
ON/OFFモード の動作説明

調整つまみの設定方法 5ページ



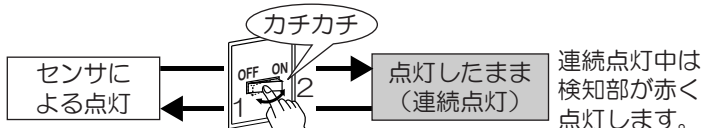
明るさセンサモード の動作説明

調整つまみの設定方法 6ページ



人がいないときも点灯したままにする（連続点灯）

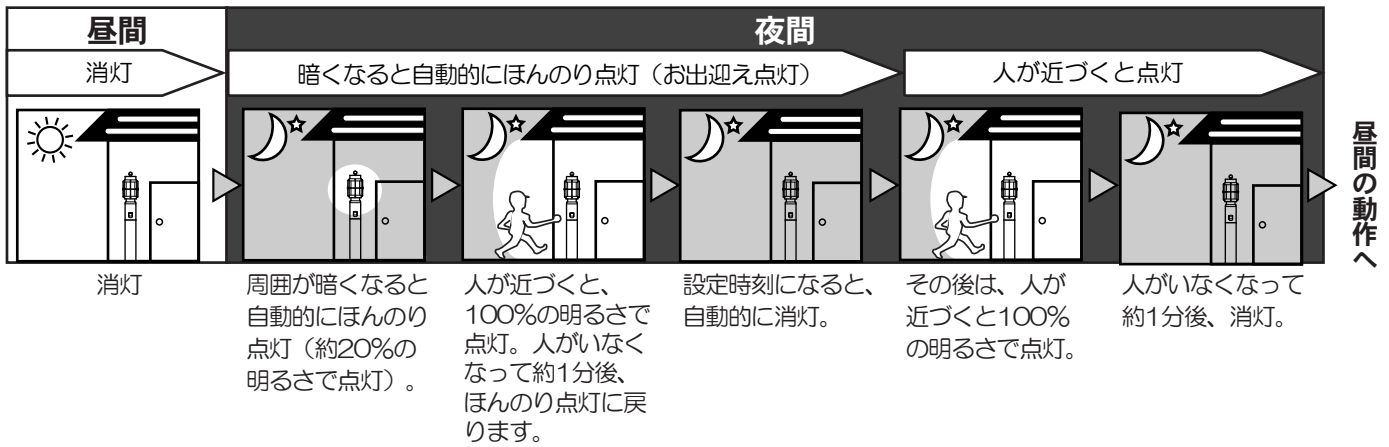
メモ



- 切り替えかた
壁スイッチがONの状態から素早く（約2秒以内に）OFF→ONにする
- センサによる点灯に戻す
再度、壁スイッチがONの状態から素早く（約2秒以内に）OFF→ONにする

- 周囲が暗いときだけ、点灯状態を切り替えることができます。
- 連続点灯のままにしている場合、朝になって周囲が明るくなると自動的に消灯します。再び暗くなるとセンサによる点灯に戻ります。
- 日中も暗い場所や天候の影響で周囲が暗い場合、朝になっても消灯しないことがあります。最長15時間でセンサでの点灯に戻ります。
- 約2秒以内の短い停電が起こった場合には、意図せず点灯状態が切り替わることがあります。

お出迎えモード の動作説明

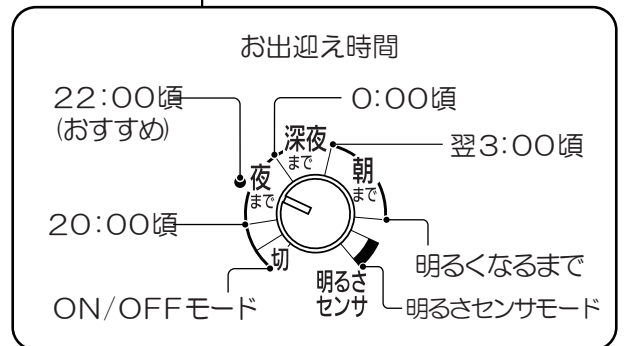
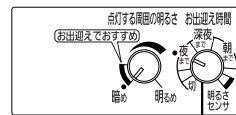


調整ツマミの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

4 「お出迎え時間」ツマミで お出迎え点灯の終了時刻を設定する



●上図の時刻は目安です。地域や天候により、設定時刻より1時間前後のずれが生じることがあります。

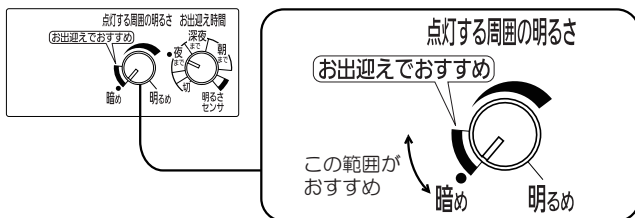
2 本体カバーを取り外す

👉 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

5 本体カバーを取り付ける

👉 2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミで どれくらい周囲が暗くなったら、お出迎え点灯が始まるかを設定する



- 明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちからお出迎え点灯が始まります。
- 右いっぱいに戻すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。この場合、人がいなかった後の点灯時間は約1分→約5秒となります。

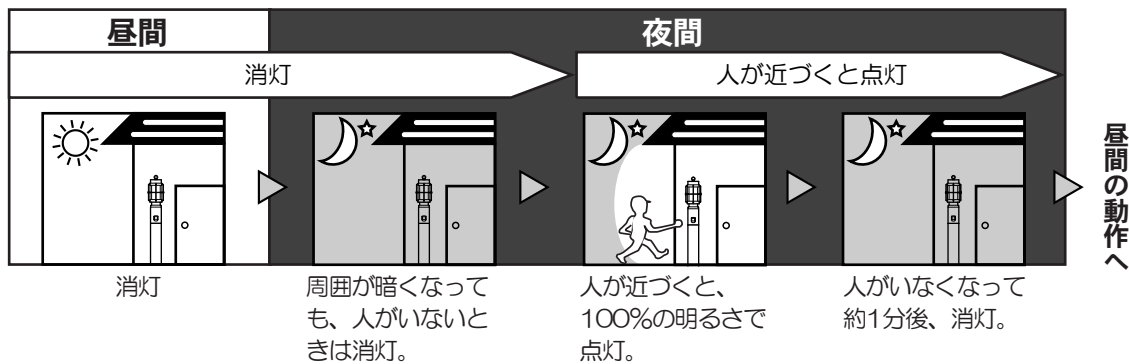
6 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意

- 壁スイッチをONした初日は、手順4で設定した時刻に関係なく、お出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時間通り終了します。
- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。壁スイッチをOFFにすると、再びONにした初日はお出迎え点灯は約4時間で終了します。

ON/OFFモードの動作説明



調整ツマミの設定方法

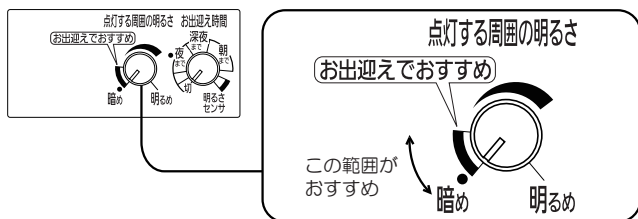
以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

2 本体カバーを取り外す

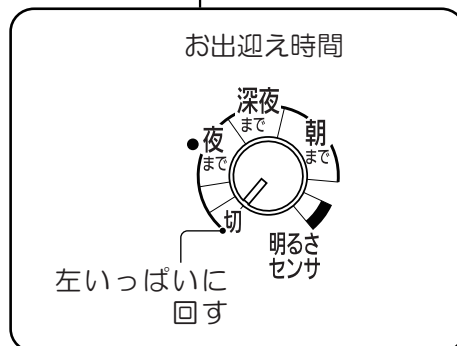
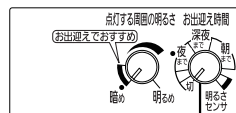
2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミでどれくらい周囲が暗くなったら、人が近づいたとき点灯させるかを設定する



- 明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちからお出迎え点灯が始まります。
- 右いっぱいに戻すと、周囲の明るさに関係なく動作するようになります。この場合、人がいなくなった後の点灯時間は約1分→約5秒となります。

4 「お出迎え時間」ツマミで「切」に設定する



5 本体カバーを取り付ける

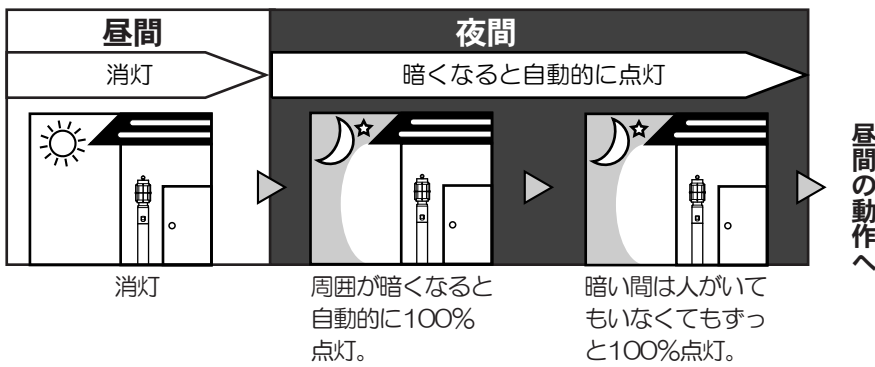
2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

6 壁スイッチをONにする

➔ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

- 壁スイッチは、常時ONでお使いください。

明るさセンサモードの動作説明

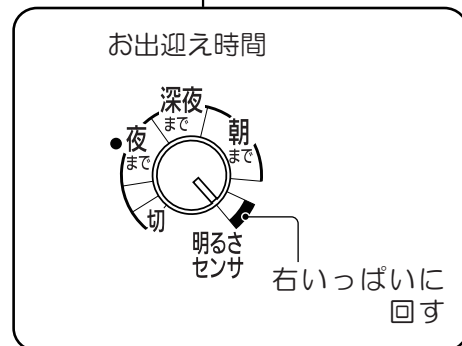
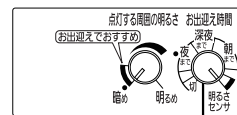


調整ツマミの設定方法

以下の手順で設定してからご使用ください

1 壁スイッチをOFFにする

4 「お出迎え時間」ツマミを右いっぱいに戻し「明るさセンサ」に設定する



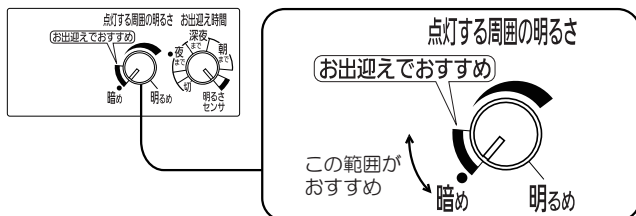
2 本体カバーを取り外す

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

5 本体カバーを取り付ける

2ページ
「各部のなまえとはたらき」参照

3 「点灯する周囲の明るさ」ツマミでどれくらい周囲が暗くなったら、点灯が始まるかを設定する



●明るめ（右方向）に回すほど、明るいうちから点灯が始まります。

6 壁スイッチをONにする

➔ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

●壁スイッチは、常時ONでお使いください。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- パナソニック製ランプをお求めください。
- ランプの種類は器具に表示しています。
間違った種類・ワット数のランプを使用すると火災の原因となります。

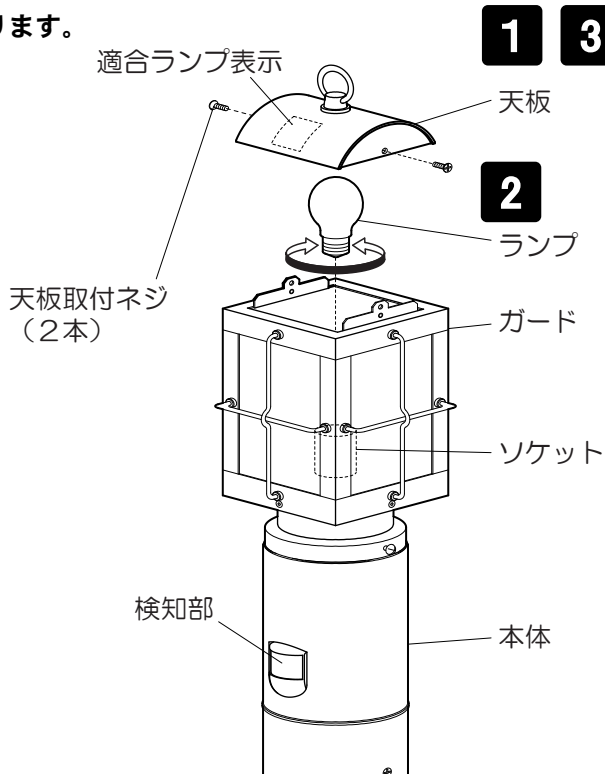
1 天板取付ネジ(2本)をゆるめて
天板を外す

2 ランプを交換する

3 天板取付ネジ(2本)を締め付けて
天板を取り付ける


⚠ 注意

取り付けが不完全な場合、浸水による感電及び落下によるけがの原因となることがあります。



お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1度程度）に清掃してください。
汚れがひどい場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・検知部（ 2ページ）が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的（6カ月に1度程度）にやわらかい布で清掃してください。
- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたたりしないでください。
変色・破損・劣化の原因となります。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください

使用電圧	消費電力	付 属 ラ ン プ
AC100V	31W（センサ待機時0.17W）	40形ミニクリプトン電球（クリア・110V用・E17）

故障かな？と思ったら

(下記の点検をお願いします)

●異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。

症 状	考えられる原因	処 置	参照ページ
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している (検知部が赤く点灯している)	▶ 壁スイッチを意図せず操作して、連続点灯に切り替わっている	▶ 壁スイッチを素早くOFF→ONにすると、センサでの点灯に戻ります。 (検知部が赤く点灯しているのが消えます)	3ページ
	▶ 短い停電により、意図せず連続点灯に切り替わっている		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している (検知部が赤く点滅している)	▶ 電源を投入した直後である	▶ 電源を投入した直後、約40秒間は周囲の明るさに関係なく点灯します。	-
	▶ 停電から回復した直後である		
センサの検知範囲に人がいないのに点灯している (検知部は赤く点灯していない)	▶ 検知範囲に人以外の熱源がある 例) エアコンの吹き出し口、風などでよく揺れるもの、車の熱やヘッドライト、動物、雨、雷など	▶ センサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため人以外の熱源でも点灯する場合があります。 (故障ではありません)	2ページ
	▶ お出迎え時間ツマミが「明るさセンサ」になっている (明るさセンサモードになっている)	▶ お出迎え時間ツマミを「明るさセンサ」以外の位置にする	2ページ
センサの検知範囲に人がいるのに点灯しない	▶ 壁スイッチがOFFになっている	▶ 壁スイッチをONにする。	-
	▶ ランプが切れている	▶ ランプを交換する。	7ページ
	▶ 点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	▶ 点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」方向に回して調整する。	2ページ
	▶ 人が静止している	▶ 静止している人は検知しません。	2ページ
人が近づいても検知しにくい	▶ 検知範囲が適切でない	▶ 検知範囲を調整する。	2ページ
	▶ 検知部に汚れや水滴などが附着している	▶ 検知部をやわらかい布などでふく。	7ページ
	▶ 検知しにくい条件となっている	▶ 故障ではありません。	2ページ
お出迎え点灯が終了時刻を設定した時間より早い/遅い (お出迎えモードの時)	▶ 天候により、周囲が暗くなる時刻が、通常より早かった/遅かった	▶ センサの性能上、天候によりお出迎え時間の終了時刻がばらつきます。	2ページ
	▶ 電源を投入した初日である	▶ 電源を投入した初日は、お出迎え時間は約4時間で終了します。 翌日より設定した時刻に終了します。 (壁スイッチは常時ONで使用ください)	4ページ
周囲が暗くなっても、点灯(お出迎え点灯)しない	▶ 点灯する周囲の明るさツマミで設定した明るさより、周囲が明るい	▶ 点灯する周囲の明るさツマミを「明るめ」方向に回して調整する。	2ページ
	▶ お出迎え時間ツマミが「切」になっている (ON/OFFモードになっている)	▶ お出迎えモードで使用する場合は、お出迎え時間ツマミを「切」以外にします。	4ページ
周囲が明るいのに、点灯(お出迎え点灯)する	▶ 点灯する周囲の明るさツマミが「明るめ」になっている	▶ 点灯する周囲の明るさツマミを「暗め」方向に回して調整する。	2ページ
	▶ 器具の設置場所が昼間でも暗い		

●処置した後に正常に戻らない場合は、いったん電源を切り約10秒以上経ってから再び電源を投入してみてください。

それでもなお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店、電器店にご相談ください。

取説コード

UZ238

200902A_1009